

製造業を営む事業所が対象です

平成30年度 工業統計調査を実施します

市役所総務課 ☎ 055-948-1411



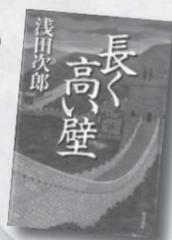
工業統計調査は、工業の実態を明らかにすることを目的とした統計調査です。調査対象の事業所には、統計法に基づく報告義務があります。調査結果は、中小企業施策や地域振興などの基礎資料として活用されます。

調査は、6月1日時点で実施します。対象の事業所には、5月中旬頃から調査員が伺いますので、調査へのご協力をお願いします。

図書館だより

ピックアップ

一般



長く高い壁
浅田次郎／著
角川書店

日中戦争下の万里の長城。第一分隊10人が全員死亡という大事件が発生。探偵役を命じられた従軍作家がたどり着く驚がくの真相とは。著者初の戦場ミステリー。【中央】

一般



帝国最期の日々 上・下
パトリス・ゲニフェイ／編
原書房

歴史は永遠に繰り返される定めなのか。モンゴル帝国、神聖ローマ帝国、オスマン帝国、オーストリア王家、そして日本。歴史も地域も違う20の帝国の衰退と消滅の歴史。【葦山】

開館時間（共通）9：00～17：30

中央図書館 ☎ 0558-76-5566

葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>

5月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

☆5月のおはなし会

中央図書館 12日(土) 11：00～

葦山図書館 12日(土) 14：00～
26日(土) 14：00～

大仁くぬぎ会館こども広場
10日(木) 11：00～

新着本コーナーから

一般 私はある記憶のなかに 角田光代／著【中央・葦山】

一般 北条氏政 一乾坤を截破し太虚に帰す 黒田基樹／著【中央】

一般 オリジン 上・下 ダン・ブラウン／著【中央】

一般 ほどほど快適生活百貨 群ようこ／著【葦山】

児童 やさいのがっこう ーともろこしちゃんのながいかみー なかやみわ／さく【葦山】

お知らせ

長岡図書館の返却ポストは引き続きご利用いただけます。

ただし、返却処理に数日かかることがあります。返却処理が終わらないと貸出し冊数が制限されますので、中央・葦山図書館を利用する予定がある場合は直接各館カウンターへお返しく下さい。

文化財通信

その155

いずのくに石の文化史(その1)

市役所文化財課 ☎ 055-948-1428



白鳥山採石場(六方石)

江戸時代から、伊豆は石材の産地でした。産出する石材は「伊豆石」と呼ばれ、伊豆の国市内でも、江戸時代末期から大正時代にかけて、墓石や建築材料として、盛んに江戸・東京に出荷していました。「伊豆石」といっても、火山のマグマが冷え固まった硬い安山岩系のもので、海底に堆積した土砂が長い年月を経て固まった凝灰岩系のものであります。

安山岩系の石材は、江戸時代には、江戸城の石垣に用いられるなど、伊豆半島の海岸沿いで大規模な採掘が行われました。市内では、有名なものとして、神島の小室地区で産出する「六方石」があります。六方石は、マグマが冷え固まる過程で六角柱

状に節理(割れ)が入り、加工をしなくても六角柱の状態で作出されるもので、庭石として利用されています。三福の仲道A遺跡の縄文時代中期(約6千年前)の竪穴住居の炉を囲む石として使用されるなど古くから使用されています。六方石は、今でも神島の白鳥山の採石場で産出し、現地で柱状節理の状況を確認することができます。

凝灰岩系の石材は、やわらかく加工がしやすいことから、石倉などの建築資材に多く使われました。横根沢石(北江間)、戸沢石(戸沢)、円成



仲道A遺跡(三福) 竪穴住居炉石

状に節理(割れ)が入り、加工をしなくても六角柱の状態で作出されるもので、庭石として利用されています。三福の仲道A遺跡の縄文時代中期(約6千年前)の竪穴住居の炉を囲む石として使用されるなど古くから使用されています。六方石は、今でも神島の白鳥山の採石場で産出し、現地で柱状節理の状況を確認することができます。



湯谷神社石切り場

寺石(寺家)など、産出する地域の名前を冠した石材として広く利用されました。旧川西村には石切場が12カ所あったといわれ、明治、大正期には市内の一大産業でした。しかし、大正12年(1923)に発生した関東大震災により、レンガ造りや石造りの建造物の被害が大きかったため、建築資材として石の利用が見直され、衰退することとなりました。採掘を行っていた石切り場は、湯谷神社(古奈)の境内など市内に多く残っていますが、現在採掘は行われていません。

今後、不定期ですが、伊豆の国市の歴史と石のかかわりについてご紹介いたします。